

京田辺市次世代育成支援行動計画（後期） 新規・拡充事業一覧表

★：新規事業・・・5事業

※印は平成22年度実施予定

	事業名	施策目標・分野	内 容	担当課	記載箇所	22年度実績	評価等
★1※	京田辺市健康増進計画の策定及び実施	母と子の健康づくり支援	市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに健康でいきいきとした生活が維持できるよう、健康の指針を作成し健康増進及び推進を図る。	健康衛生	P70	・「京田辺市健康づくり推進協議会設置要綱」に計画策定を位置づけ、全体構成や基礎調査内容について協議を行った。また、団体ヒアリングや市民アンケートを実施し、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成した。（協議会3回開催、ワーキング部会4回開催）	当初の予定通り、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成できた。
★2※	京田辺市食育推進計画の策定及び実施	〃	市健康増進計画の策定に併せて食育計画をたてる。	健康衛生	P72	・「京田辺市健康づくり推進協議会設置要綱」に計画策定を位置づけ、全体構成や基礎調査内容について協議を行った。また、団体ヒアリングや市民アンケートを実施し、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成した。（協議会3回開催、ワーキング部会4回開催）	当初の予定通り、「京田辺市健康に関する意識調査結果報告書」を作成できた。
★3	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	仕事と子育ての両立支援、子どもの虐待防止対策の推進	保護者が疾病、疲労その他の身体的若しくは精神上又は環境上の理由（父子家庭の父が長期出張等）により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や緊急避難として一時的に児童を養育・保護を行う為の短期間の施設での預かり事業。	こども福祉	P77 P90	未実施	未実施
★4※	子ども手当の支給	心身を健やかに育む子育て環境の充実	子どもを養育している者に子ども手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの成長・発達に資する。中学生までの子どもを養育する保護者対象。	こども福祉	P84	支給児童 延べ93,464人 支給総額 1,215,032,000円 児童数(中学3年生まで対象拡大) 9,600人 受給者数 5,660人	支給対象者への制度変更案内の周知がもれなくでき、適正に支給事務ができた。
★5	子どもの遊び場情報誌の作成	情報提供の充実、地域における子育て支援の推進	市内の自然や施設における遊び場を収集した情報誌を作成し子育て家庭に配布	こども福祉	P91 P92	未実施	未実施

	事業名	施策目標・分野	内 容	担当課	記載箇所	22年度実績	評価等
☆1※	子どもの事故防止、救急対応等の情報誌の作成	母と子の健康づくり支援、子育て情報提供、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり	子どもの事故防止等救急対応に係わる衛生教育の実施及び救急処置に係わるパンフレットの発行。	子ども福祉	P70 P76 P96	1歳6か月健診時、パンフレットを食生活改善推進員が配布 23年1月から3月 128人 子育て支援センター事業で「救急法の指導」53名参加	健診の機会を利用して、90%以上の保護者に事故防止の喚起ができた。
☆2	伝統食等の調理実習	母と子の健康づくり支援	児童館等において、郷土食の調理実習をつうじて伝統食を学ぶとともに、高齢者との交流を図る。	子ども福祉	P72	「ちまきをつくろう」(5月29日開催) 高齢者を講師に迎え、世代間交流を兼ねた料理教室として実施。 小学生13名参加	季節感ある行事食を取り入れた事業が実施できた。
☆3	保育所・幼稚園学校における食育の実施	〃	保育所通所児に食育事業を実施 幼稚園、学校等における食育の指導 食農体験・学校給食等における地元産野菜の導入	子ども福祉	P72	各保育所とも行事食の実施、展示食の実施を行った食と生活リズムのアンケートを年間1回実施 給食だよりを年間12回発行	食育推進計画の策定により、体系的に取り組めることが期待される。 季節の食材を紹介したり、食習慣、はしの使い方等の食文化など、年間を通して指導ができた。
				学校教育		市立小学校9校でしよくいくだより、こんだてだよりを年9回発行し食育の指導に努めた。	
				農政		市立小学校9校でしよくいくだより、こんだてだよりを年9回発行し食育の指導に努めた。 食農体験として、普賢寺地域における収穫イベントを実施した。 小学校で玉露のお茶の入れ方教室を実施した。 学校給食における、地産地消として、京田辺産の米、天王の味噌、たけのこ、シロナ、白菜、大根、海老芋、タマネギ、ジャガイモ、黒豆、えんどう豆、なすに加え、平成22年度はカボチャを導入した。	
☆4※	子どもの医療費の助成	母と子の健康づくり支援、子育て環境の充実 心身を健やかに育む子育て環境の充実	通院及び入院に係る医療費の一部助成の拡大を実施し、子育て家庭への経済的支援を行う。	子ども福祉	P73 P84	入院は中学生まで、入院外は小学3年生まで対象年齢を拡大。 入院：652件 26,370千円 入院外：87,042件 126,324千円	制度拡大対象者への制度改正の周知、医療証の発行ができ、子育て家庭への経済的支援ができた。
☆5※	児童虐待防止のパンフレットの配付	子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実 子どもの虐待防止対策の推進	市民の通告等により、虐待の早期発見・早期対応の充実を図るため、市民への啓発のためのパンフレットの充実。また、子どもに係わる仕事等をする人へもより知識を深めていただくため、マニュアルを作成し、配布する。	子ども福祉	P74 P76 P89	「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 児童虐待対応マニュアル作成、配布 2000冊 子どもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成	全市民に通告先を知ってもらうため、リーフレットの全戸配布ができた。 京都府下南部で初めて児童虐待対応マニュアルを作成できた。子どもに関わる方全員に配布できた。

☆6※	子育てひろば事業	子育てに係る意識啓発及び情報提供の充実、心身を健やかに育む子育て環境充実	新たな地域子育て支援拠点として、あそびの広場、預かり保育、相談・交流事業、支援者養成講座の事業を通じて地域における子育て支援活動を展開する。	こども福祉	P74 P80	子育てひろばてふてふを平成22年7月開設。利用者 5,482人(7~3月分)	開設後のリピーターも多く、様々な企画が実施され、NPO法人による地域の子育て支援拠点ができた。
☆7	ホームページによる情報発信の充実	子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実	ホームページにおける子育て情報の内容の充実を図る。	こども福祉	P76	子育て支援事業、相談事業等を掲載	子育て家庭への情報提供のツールとして定着してきたが、情報の更新頻度が低い。
☆8※	子育てひろばからの情報発信	子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実	子育てひろばの開設により、子育てに係る情報を積極的に発信する。	こども福祉	P76	てふてふだより 1回/2月(ひろばや児童館・市役所等で設置) 子育て支援事業、相談事業等をHPにも掲載している「てふてふ」の案内リーフレットの作成 2000部	たよりやHPをみて、来所する方もある。HPの写真等の掲載を楽しみにしているリピーターもいるほど情報源として定着している。
☆9※	子育て外遊びマップの発行	情報提供の充実、地域における子育て支援の推進	京田辺市の自然について生かした遊び場情報を子育て親子等に伝える為、外遊び情報誌の作成し、家族交流や仲間づくり等を促進する。	こども福祉	P76 P92	子育てマップ3000部作成 保育所、幼稚園、市内公共機関で配布 子育て外遊びマップは未実施	子育て支援情報が満載で、1枚もので見やすいと好評である。
☆10	児童館における子どもとの触れ合い体験事業	子育てに係る意識啓発並びに情報提供の充実	児童館において、児童・学童が乳幼児と触れ合う機会をつくり世代間の交流を図る。	こども福祉	P76	大住児童館1月22日人形劇鑑賞会 乳幼児親子と小学生 78人参加 普賢寺児童館 12月15日クリスマス会人形劇 1.2歳児30人幼稚園児12人小学生62人参加	積極的に一緒に何かに取り組むまでにはいたらないが、時間を共有する中で自然な交流ができた。
☆11	ファミリー・サポート・センター事業の推進	母と子の健康づくり支援、仕事と子育ての両立支援	通常の預かりに加えて、早朝・夜間等の緊急時の子どもの預かり等の拡大を図る。	こども福祉	P70 P77	活動件数 2,520件 ・会員数 依頼(おねがい)会員 255人、提供(おまかせ)会員 94人、両方(どっちも)会員29人。合計378人 広報紙等で随時募っている。目標: 会員数300人(依頼、援助 共)	計画当初の会員数300人の目標は達成できた。今後は、ニーズの高い病児の預かりなどの検討が必要である。
☆12	病児・病後児保育事業	仕事と子育ての両立支援	病後児の預かりに加えて、病児における預かり保育の拡大を図る。	こども福祉	P77	病後児保育 12人	病後児保育は実施しているが、今回のアンケート調査での保護者が仕事との両立で大変と感じることの第1位は「子どもや自分が病気の時代わりに子どもの面倒を見るひとがいない」であることから、病児保育の実施の検討が必要である。
☆13※	民間保育所の整備補助	保育環境の充実	松井ヶ丘保育園の増改築を行い、仕事と子育ての両立及び待機児童の解消を図る。	こども福祉	P79	松井ヶ丘保育園に移転整備工事に補助金(204,393,000円)を交付した	保育所定員が210人に増え、4月当初の待機児童の解消を図れることになった。
☆14※	放課後子どもプラン	子どもの居場所づくり及び多様な保育サービスの充実	児童が放課後を安全で健やかに過ごせる居場所づくりと地域との世代間交流を図る為、各小学校区等において体験学習等の事業を実施。今後は、全ての小学校区等に拡大する。	社会教育	P77 P83	年間実施日数 87日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3677人	放課後等における子どもの安全で健やかな居場所づくりを当初の計画どおり平成20年度から3か年で全小学校において実施することができた。

☆15※	第2次市男女共同参画計画の策定と事業の推進	男女の共同子育ての推進	新たな時代の要請に応え、目指す男女共同参画社会の将来像について計画策定するとともに、施策を総合的・計画的に推進する。	市民参画	P78	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次京田辺市男女共同参画計画の策定(平成23年3月) ・第1次京田辺市男女共同参画計画の成果と課題の整理 	京田辺市男女共同参画推進条例に基づく初めての計画として、「第2次京田辺市男女共同参画計画」を策定。今後は、この計画に沿って各施策を総合的かつ計画的に展開し、男女共同参画社会の実現を目指す。
☆16	家庭支援推進保育事業	心身を健やかに育む子育て環境の充実	家庭において特に配慮を要する保育所児童に対する家庭支援し、家庭支援推進保育士を設置。	こども福祉	P79	公立4保育所に 各1名の保育士配置	22年度に公立の全保育所に配置でき、要保護、要支援家庭へのより細やかな対応が可能になった。
☆17※	保育所・幼稚園小・中学校等施設の計画的な改善	〃	施設の維持官吏及び公共施設における環境整備を計画的に行う。	こども福祉教育総務室	P79	<p>保育所 河原保育所の園庭、来客用駐車場と園舎屋根の工事を実施</p> <p>○小学校 耐震補強工事に併せて、田辺小学校南校舎棟(西側)の大規模改修工事を実施した。田辺東小学校について、中校舎棟の改築工事を実施した。</p> <p>○中学校 田辺中学校中校舎棟について、改築工事を実施した。</p> <p>○幼稚園 田辺東幼稚園、三山木幼稚園の園庭整備を実施し、施設の維持管理及び教育環境の改善を図った。</p>	良好な保育・教育環境の改善整備が計画的に行われた。
☆18※	小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談	心身を健やかに育む環境の充実、子どもの虐待防止対策の推進	臨床心理士の資格を有するカウンセラーを配置し、学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化を図る。	学校教育	P81 P89	<p>小・中学校で教育相談を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数428件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ67件、相談人数 延べ491人 	有資格者のカウンセラーが、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。
☆19※	児童扶養手当	ひとり親家庭への経済的支援	父子家庭に対する児童扶養手当を拡大し、児童の健全育成を図る。	こども福祉	P84 P86	平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)	制度拡大対象者への制度改正の周知ができ、ひとり親家庭への経済的支援ができた。
☆20	ヘルパーによる訪問	子どもの虐待防止対策の推進	児童虐待が懸念される家庭に対し、児童の安全確保や虐待の悪化を防ぐ為にヘルパーを派遣し、家事・育児等の支援を行う。	こども福祉	P89	産後ヘルパー派遣 10人 (のべ23人)	産後の育児の負担の軽減を図るヘルパーは派遣できたが、児童虐待防止のためのヘルパー派遣は未実施。
☆21※	都市計画マスタープランの改訂	豊かな自然環境の活用と保全	今後の土地利用、交通網整備の基本方向、各地域のまちづくりの方針を定め、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりの視点で土地利用、都市整備及び管理体制の構築を図る。	都市計画	P93	都市計画マスタープランの改訂完了 ・周辺環境・自然環境に配慮した土地利用を推進するために将来土地利用方針について記載	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりの視点も反映された計画改訂ができた。
☆22	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援	〃	環境施策を推進するため、パートナーシップ組織の環境保全活動を支援し、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進する。	環境	P93	<ul style="list-style-type: none"> きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、蛍を通じた河川保全、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等) 	きょうたなべ環境市民パートナーシップの活動を通じて、環境保全に関する啓発ができた。

☆23	緑の基本計画策定	〃	緑地の適正保全緑化推進に関する施策を総合的に計画的に進め、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを図る。	施設管理	P93	見直しの検討	未実施
☆24	市民団体「京田辺エコパークかんなび」の支援	〃	市民団体の運営及び活動支援をつうじて、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりを推進する。	清掃衛生	P94	京田辺エコパークかんなびの活動(3R推進活動に関わる各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア、勉強会、見学会など)支援	京田辺エコパークかんなびの活動を通じて、「3R」推進に関する啓発ができた。
☆25	公園里親制度(アダプト制度)の普及	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり	地域の児童公園等における緑地の日常的管理(抜根・除草)について、公園里親制度の普及を図り、市民が主体的に公園・緑地の日常的な維持管理に参画できる仕組みを構築する。	施設管理	P94	里親制度モデル事業 西神屋公園及び田辺東幼稚園緑地緑化事業(H22.5.26/H22.12.13) 花の一休寺道緑化推進事業(H22.7.15)	市と市民がお互いの役割分担について協定を結び、継続的に美化活動を進める制度づくりが必要である。
☆26	保育所、幼稚園小・中学校の耐震改修等工事	安心・安全の生活環境の確保	耐震診断の基づき補強工事の実施	こども福祉教育総務	P95	保育所:必要な耐震補強工事は21年度で終了 小学校 大住小学校管理棟・管理特別棟、田辺小学校南校舎棟(西側)、薪小学校南校舎棟について耐震補強工事を実施した。田辺東小中校舎棟について、改築工事を実施した。 中学校 田辺中学校校舎棟について、改築工事を実施した。	安全で安心できる教育・保育施設が計画的に提供できた。

* : 22年度新規事業・・・2事業

※印は計画にはなく、平成22年度実施

	事業名	施策目標・分野	内 容	担当課	記載箇所	22年度実績	評価
* 1	ヒブ・小児肺炎球菌予防接種費用助成事業	母と子の健康づくり支援	ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン（任意接種）の費用を助成	こども福祉		2か月以上5歳未満児を対象に、それぞれ1回から4回の接種費用を全額助成 ヒブのべ514回 小児肺炎球菌のべ635回	こんにちは赤ちゃん事業や、3か月健診での周知をはかり、相談の電話対応も行った。
* 2	子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業	思春期～青年期の健康づくりの支援	子宮頸がん予防ワクチン（任意接種）の費用を助成	健康衛生		中1～高1の女子を対象に、1人あたり3回接種の費用全額助成 のべ393回	広報やホームページへの掲載などを行い、対象者全員に周知できた。